

第2回倶知安町住居表示審議会 開催報告

1. 日時

2021年7月29日（木）14：00～15：00

2. 場所

ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ ドットベース

3. 委員出席者

●委員出席者

- ・岩澤 豊
 - ・北川 春樹
 - ・佐藤 英俊
 - ・佐藤 文雄
 - ・田中 義人
 - ・吉田 聡
 - ・渡辺 淳子
- 阪井委員欠席

●町参加者

- ・まちづくり新幹線課 遠藤課長
- ・まちづくり新幹線課 桜井主幹
- ・まちづくり新幹線課まちづくり係 西口係長
- ・まちづくり新幹線課まちづくり係 井上主事

4. 諮問書の交付

（遠藤課長より、吉田会長に諮問書を渡す）

5. 諮問

「住居表示実施区域と方式」について

事務局から住居表示実施区域と方式の説明

〈委員からの意見〉

【田中委員】

- ・実施区域は今予定しているもので良い。
- ・町割は観光客目線で行くとセンタービレッジ地区がA町、ペンションビレッジ地区をB町とし、連続性を持たしアルファベットや数字で表示した方が良い。ペンションビレッジ地区は建物が密集しており、町割を2分割、もしくは3分割に分けた方が良い。
- ・ペンションビレッジ地区だけ道路方式でいけると思ったが、道路が46通りあり、住ん

でいる人でも覚えるのが大変だと思うので、街区方式にした方が良い。

【北川委員】

- ・実施区域に関しては今予定しているもので良い。
- ・方式については、消防署目線からだと道路方式より街区方式の方がわかりやすい。道路方式だと今でもわかりにくい住所がさらにわかりにくくなり、住居表示を実施した意味がなくなると思う。
- ・消防署の現状としても若い職員が多くなってきており、建物の場所を瞬時に特定できる職員は半分くらいであり、道路方式を選択するとさらに混乱を招くような気がする。

【渡辺委員】

- ・泉郷の上の方で開発が始まりそうであり、実施予定区域の範囲外であることから、開発状況を泉郷に確認した方が良いのではないかと。
- ・道路方式だと実施予定範囲の道路で93通りあり、とても覚えられない。地元に住んでいる人達でも覚えるのが難しいことから、観光客はもっと難しいと思う。
- ・山田Ⅰ地区（泉郷）の町割の区分が長く広い感じがするので2分割、3分割に分けた方が良い。

【岩澤委員】

- ・道路方式より街区方式の方がわかりやすい。
- ・町割はそれぞれ大きさにばらつきがあると思うので均等にした方が良いのではないかと。

【事務局】

- ・町割は、今後変わりづらい道路や河川を基準に考えているために、どうしても広さにばらつきが出てきてしまう。

【佐藤文雄委員】

- ・実施区域、町割についても予定しているもので良い。方式も街区方式の方がわかりやすい。

【佐藤英俊委員】

- ・安全という優先順位を考えると街区方式が一番望ましい。
- ・町割はわかりやすく、連続性を持たして表示した方が良い。

【吉田会長】

- ・道路方式に賛成。
- ・海外はほとんど道路方式であり、私は外国で住んだことがあるが、道路方式は全然不便ではない。
- ・観光客は外国人がほとんどの中で、日本人の感覚でやっていいのかなと疑問に思っている。道路方式にすることで、話題性が突出しており、全国に広まるような気がする。利用客目線で見ても、道路方式が合っていると思う。
- ・だが他の審議委員の意見も聞いた中で街区方式で進めていきたいと思う。

6. その他

〈町名に関するアンケート〉

【岩澤委員】

- ・地域の特徴を反映した方がいいと思う。

7. 答申

吉田会長から諮問内容について、本案のとおり決した内容にて答申